

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 主に水稻経営が展開されている平地農業地域。
- 担い手も多く、水田の集積は進んでいる地区であるが、集約化していくことが今後の課題。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営規模拡大に対応し、農地の集積・集約を図るとともに、農業所得の安定的な確保を支援する必要。
- 助成対象者が所在する地区は、大規模水稻経営体が多く、耕作者同士が話し合いをしながら、市全体を視野に集約化を図っていく方向性にある。スマート農業等先端技術の導入や大規模機械を効率的に稼働させるためのほ場の大区画化などにより更なる作業効率の向上などへの取組を支援。



助成対象者「(株)白川」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成27年 法人化(農事組合法人) 経営改善計画の認定
- 令和3年 株式会社へ移行

《事業活用の背景》

○ 経営規模拡大と農業所得の安定的な確保を図るためには、作業の効率化と徹底した品質管理が必要。よって、自動操舵による作業などの情報の管理・活用を可能とする高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○付加価値額	59百万円
○経営面積	97.8ha (水稻)
○輸出米	10t

《事業による整備内容》

○トラクター(自動操舵機能付き) 3台	事業費 33,376千円 (国費15,170千円)	
○トラクター各種アタッチメント	事業費 26,299千円 (国費11,950千円)	
○乾燥機 一式	事業費 4,400千円 (国費2,000千円)	

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○付加価値額	79百万円 (134%)
○経営面積	105.2ha (水稻、大豆) (108%)
○輸出米	21.6t (216%)

事業の
効果

《対象者》 スマート農業の導入により更なる作業の効率化・省力化が実現し、経営規模及び付加価値額が拡大。

《地 区》 担い手の生産体制強化により地区内の農地集積・集約が進展。地域農業の維持に寄与。